

# インターポート

兵庫教育文化研究所だより

No.212

2020年3月3日

発行所 兵庫教育文化研究所

〒650-0004

神戸市中央区中山手通 4-10-8

## めざせ！“コロン”と後ろ転がり

保健・体育部会  
授業研究会

保健・体育部会が豊岡市の小学校において授業研究会をおこないました。1年生「マットを使った運動遊び」の単元で、「いろいろな後ろ転がりに挑戦して、“コロン”とまわれるようになろう」という内容でした。子どもたちの実態として、固定遊具や鉄棒、跳び箱を使った運動遊びを経験してはいますが、まだまだ自分の思い通りに体を動かすことができない子どももおり、領域によって得意・不得意がはっきりとしていることが現状として見られるようです。そのため、「器械・器具を使った運動遊び」の領域以外の授業でも、準備運動や体づくりの運動として「かえるの足打ち」や「かえるの逆立ち」などを取り入れられてきたようです。

授業は、担任と副担任とのTTの形態でおこなわれました。準備運動では、「となりのトトロ」の音楽に合わせてながら、だるまころがりやアンテナなどマット遊びの感覚づくりに必要な動きなどを確認しました。次に、後ろ転がりなどの前時の動きを復習し、体を慣らしていきました。その際、子どもたちは、「うしろタッチまえ・・・」などと、動きに合った有効的なかけ声をかけ合いながら、主体的に体の動かし方や転がるタイミングをつかんでいきました。そして、さらに体を丸くして後ろに転がる感覚をつかむため、器具等を有効に使った3つのコース（ロイター板坂道コース・赤白帽あごばさみコース・段ボールまっすぐコース）を順番に回って練習を続けていきました。その中でも、「みんなでやってみようタイム」では、子どもたちが「恋するフォーチュンクッキー」の曲に合わせて、リズムに乗りながら表情豊かに後ろ転がりをする姿が大変印象的でした。最後には、本時に自分ができるようになったことを発表し合って、授業を終えました。



事後研では、参観者から「段ボールや音楽の活用など、場の設定が大変工夫されていた。子どもたちが高揚感をもつことができる授業内容だった」「TTのコンビネーションがよかった。子どもたちが安心感をもって活動できていた」「中学校においても柔軟性に課題がある。小学校からの系統立てたカリキュラムの必要性を感じる」といった意見が出されました。養護教員からは「子どもたちがきちんとまわりを守ってとりこんでいた。安全面にも配慮されており、一人もケガをすることがなかった」と安全面の視点からの意見も出されました。また、低学年の体育の指導に対して、教員がどのように関わっていけばよいのかということにも話がおよびました。助言者からは「器械領域はできる子、できない子がはっきりしているが、苦手な子にも配慮され、子どもたちと一緒に創り上げる授業であった。このことは、授業づくりの原点である」といった話がありました。



今後も保健・体育部会では、子どもたちを中心にすえた「わかる授業・楽しい学校づくり」をめざして、研究を続けていきます。

(本授業の指導案は「組合員専用ページ」に掲載しています。ID、パスワードは各地域組合へお問い合わせください。)